

2023. 8 アメリカ研修レポート

ライト大学研修

○生命科学部生命医科学科 3年 石田 理紗

食、服装、文化などさまざまな日本との違いを感じることができ、新鮮で楽しかった。また、アメリカの友達ができただけでなく、英語を話せるようになりたいと感じ、今後の英語学習のモチベーションになると思った。英語で話す練習をしたいときはいつでも言ってくれた友達もおり、日本に帰った後も本場の英語に触れる機会を得たことはとてもよかった。



それ以外にも日本の友達もできたため、新たな交友関係ができてとても楽しい時間を過ごすことができた。

アドバイス：日差しがかなり強いため、日焼け対策グッズはしっかりと持っていったほうがいい。WhatsApp というアプリをスマホに入れていったほうがいい。

○危機管理学部危機管理学科 4年 友野 雄大

今回の経験から、語学の資格にも関心が高まり、もっと海外に行きたくなった
アドバイス：洗濯はこまめにするか、あっちで友達を作ってコインランドリーに連れていってもらおう

服は少量でよくて長袖がいる(日中は暑い)

みんな優しいから、何か困ったら、質問や相談をして解決していくといいと思う。

○生命科学部動物生命科学科 3年 久保 雛子

初めてのアメリカで緊張と楽しみな気持ちが半分ずつでした。しかし過ごしていく中でみんなとても優しくフレンドリーな人も多く、もう少しアメリカで生活を続けたい気持ちになりました。ライト大学の学生の方がゆっくり話してくれたり、わかりやすい単語で言ってくれたりしたので、英語を理解することができました。会話ができるととてもうれしかったです。一緒に行った研修団も優しい人ばかりで互いに助け合ってともに成長することができたと思います。

アドバイス：寒いときがあるので服装に注意。
靴の替え、乾燥対策



フィンドリー大学研修

○芸術学部デザイン芸術学科 2年 石川 好

出会った人すべてが温かく、居心地の良い環境でした。改めて人と人のつながりが重要なのだと感じました。同じ研修団の人たち、先生、フィンドリー大学の学生に助けをもらうことが多くありました。英語を学ぶ上で「積極性」が重要で、自分から行動を行うという勇気を得ることができたと思います。

アドバイス：自己管理が自分でできる人にお勧めします。またグループワークなどが必須でありプレゼンもいくつか組み込まれているのでプレゼンのための準備もきちんとでき、協調性をとることのできる人が参加した方がいいと思います。



○生命科学部生命科学科 1年 長島 紗子

日本とフィンドレーは大きく違いました。

ご飯の味、シャワーの使い方、飛び交う言語、あと大学にいるリスの数。

毎食のご飯には何にでもチーズが入っていて、夜は風呂に浸からず朝に一度シャワーを浴びるだけ、道行く人たちの会話は聞き取れなくて、なにかを頼張ったリスが木に登っている光景は忘れることができません。

全てが刺激的で最高の体験でした。

ギャップに戸惑い動けなくなる時もありましたが、川村先生からの助言や五十嵐先生含め

愉快的な方々の支え、その他さまざまな方の支えにより無事研修を終わることができました。全ての関わってくださった方々に感謝して、この文章を締めようと思います。

とても楽しい2週間をありがとうございました。

アドバイス：・喉が弱い人は乾燥で喉が痛くなるかもしれないので龍角散ダイレクトを持っていくと良い

・フィンドリー大学には”Japanese program house”という建物があり、そこにある程度の数が揃った日本グッズがある。

具体的には、けん玉数個、書道の道具（ふで沢山、文鎮）、浴衣数着（ボロボロの腰ひも、帯、子供用の浴衣、下駄たくさん）、折り紙（日本人好みのもは少ないのと紙は古い）、だるま落とし数個、があった。浴衣を持って行ったとしても大柄な体格の子には合わないことへ注意。日本っぽいグッズはかさばらないものを持っていくとお土産がたくさんはいる。

